

演奏に
役立つ

One Point Lesson

TUBA テューバ

川浪浩一 かわなみ・こういち



- ◆出身 福岡県立豊津高校、相愛大学
- ◆所属 大阪フィルハーモニー交響楽団
- ◆趣味 野球観戦 お酒を少々!?
- ◆血液型 B型
- ◆星座 みずがめ座
- ◆読者にひとこと 楽しく練習しましょう!
- ◆手紙の送り先 BJ 気付 もしくは kawanami-bm.tuba@angel.ocn.ne.jp

“音の強弱”をどのように吹くか?

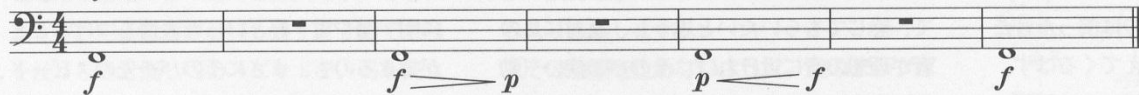
みなさんこんにちは! 暑い日が続いていますが、元気に練習していますか? 僕はもうそろそろ限界なので、ここらでしばらくお休みを……(汗) 嘘です! 気合いを入れて今日も頑張ろうと思います(笑)。さて今回は、*f*や*p*などの音の強弱について説明していこうと思います。

音の強弱を練習するときが一番大切なことは、“**力まないこと**”。これを常に頭に置いて練習してください。まず、真ん中のFの音を*mf*もしくは*f*でロングトーンをしてみましょう。自分が出せる一番よい音で吹いてください。

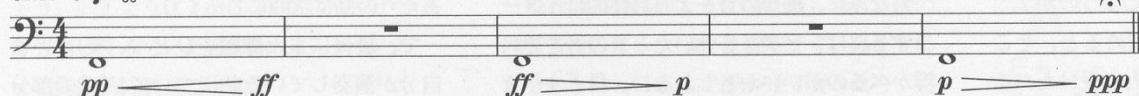
次に【譜例1】を吹いてみましょう。音量が変わるときに音色が変わらないように注意してください。耳をよく使って(もしくは録音して)、常に自分のよい音が出ているかを確認しながら練習しましょう。*p*になるにつれて口をすぼめていったり、*f*にしようとしたときに唇を無理に振動させようとする、音色が変わってしまうので気をつけてください。少し慣れてきたら【譜例2】も練習してみましょう。

これらの練習のポイントは、*mf*や*f*の音を吹いているときのイメージのまま、息のスピードや量を変えることで音量を調節する点にあります。例えば、大きな声で歌ったり小さな声で歌うときに、自分の声が出ている声

【譜例1】 ♩=60



【譜例2】 ♩=60



【譜例3】 ♩=60



帯をコントロールしようとはしないですよ。同じ管楽器で分かりやすいのはリコーダーです。音量は息のスピードや量で変化しますよね? それと同じことがテューバにも言えるのです。音の強弱は唇ではなく、息でコントロールするようにしましょう。ただ、テューバを吹くにはとてもたくさんの息が必要なので、息のスピードよりも**息の量をたくさん使うようにイメージ**するとよいですよ。この練習は、Fの音だけでなく、いろいろな音域で練習してもよいと思います。

次に【譜例3】を吹いてみましょう。これは前回書いたタンギング練習の続きでもあるので、少し前回のことも思い出してみてください。音量がどんどん変わっていきますが、タンギング(発音)の強さで音量を変えるのはあまりよいこととはいえません。あくまでも**息で変える**ということをお忘れなくください。

ここで分かりやすい実験をしてみましょう。最初にみなさんが普通にしゃべる声の大きさを「た」と言ってみてください。体をリラックスさせて、なるべく大きく口を開けてやってみてください。次に、さっきの「た」を何回か繰り返して言うのですが、そのとき1回ずつ声を大きくしていきます。舌に力が入ったり、声帯を操作しようとはしないですよ。同じ要領で、今度は1回ずつ声を

小さくしていきます。音量はタンギングの強さではなく、息の変化で変わることが分かると思います。テューバの音量の変化も原理はこれと同じなので、覚えておいてください。なお【譜例3】は、慣れてきたらノータンギング(タンギングをしない)でも吹いてみてください。どの練習もあせらずにゆっくり行なってください。

最後に、音量の練習をするときに気をつける注意点をいくつか書いておきます。まず、“**音量によって頭の中の音のイメージを変えないこと**”です。悲しい曲や楽しい曲など、音楽の流れの中で音色のイメージが変わるのはとてもよいことですが、基礎練習をするときは、自分の頭の中のよい音色のイメージを変えないようにしてください。よい音色でどんな音量でも演奏できるようになると、表現の幅は何倍にもなりますよ!

次の注意点は、“**どの音量から練習するときでも、しっかりと息を吸って練習すること**”です。よく見かけるのが、*p*から吹き始めるときに少ししか息を吸わない人です。楽器を吹くときには、必ず息をたっぷり吸うように気をつけましょう。

最後に、大きい音を吹こうとしてオーバー・ブロー(音が割れている状態)になってしまっている人がよくいますが、これは息のスピードを速くしすぎている可能性があります。

さきほども書きましたが、**大きい音は息のスピードよりも、たっぷり息の量を使って太い息で演奏するようなイメージで練習**しましょう。

今回はとりあえずここまで! かき氷でも食べて練習に励んでください(笑)。次回はスラーについてです。ではまた。